

10) JR蒲田駅西側地区

	分析項目	分析結果のポイント
消費者の 現状分析	住民に関する統計 データ分析	<ul style="list-style-type: none"> ・青年層の人口（特に 35～39 歳）の割合が高い。 ・単身者の世帯割合が高い。 ・中卒・高卒の割合が高く大卒・大学院卒の割合が低い。 ・外国人の割合は東京都の平均程度である。 ・30 ㎡未満の狭小住宅の住民の割合が高い。
	消費者として感じて いる不足業種	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の 2 割弱が「あったらよいと思う店はない」と回答しており、現状への満足度は高めである ・不足業種として割合が高いのは「書籍・文具店」「ドラッグストア」「喫茶店・カフェ」「菓子・パン店」「総合スーパー」である。
	区内外の商業地の 利用頻度	<ul style="list-style-type: none"> ・「蒲田駅周辺」の利用頻度が最も高く、7 割近い人々が月に 1 回以上の頻度で利用している。 ・次いで、「大田区内で、大森駅・蒲田駅以外の近隣」「東京都心」「川崎駅周辺」と続いている。
	近隣の商店街に 対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・「店主・店員に商品知識がある」「店主・店員の接客サービスがよい」「価格が安い」「自宅や職場に近い」「買物に時間がかからない」「品質・鮮度がよい」という点で評価されている。 ・一方で「ベンチなど休憩する場所がない」「駐車場設備が充実していない」「駐輪場設備が充実していない」という点で評価されていない。
	あなたにとっての商 店街	<ul style="list-style-type: none"> ・「買物をする場所」と全体の 3 分の 2 以上が回答、次いで「飲食をする場所」が 4 分の 1 となっている。 ・他の地区に比べて、回答が相対的に少ない項目は「買物をする場所」のみとなっている。
	大田区で紹介した い観光資源	<ul style="list-style-type: none"> ・区内で推薦したい観光資源としては、「池上本門寺」「羽田空港」「大田市場」が高い割合となっている。 ・一方で、同地区に立地している「多摩川沿いの水辺」と地区外の「桜坂など区内の名所」については、区内平均よりも高い割合となった。
供給者の 現状分析	業況感	<ul style="list-style-type: none"> ・「やや上昇している」の割合が、区内平均から見て、相対的に高く、「やや下降している」が相対的に低い割合となっている。
	供給者として感じて いる不足業種	<ul style="list-style-type: none"> ・不足業種として割合が高いのは「鮮魚店」「精肉店」「書籍・文具店」「青果物店」「惣菜店」である。 ・消費者側ではニーズの高かった「書籍・文具店」「ドラッグストア」が、供給者側の不足業種として割合は低めであり、消費者とのギャップが見られる。
	良い影響を与える 店舗等	<ul style="list-style-type: none"> ・「良い影響を与える店舗がある」と回答した割合は区内平均とほぼ同等。 ・「良い影響を与える店舗等」としては、食品系スーパーを挙げる割合が高く、具体的には西友を挙げる割合が高い。
	脅威を与える 店舗等	<ul style="list-style-type: none"> ・「脅威を与える店舗がある」と回答した割合は区内平均よりも高い。 ・「脅威を与える店舗等」としては、コンビニエンスストア、食品系スーパーを挙げる割合が高く、具体的には、コンビニエンスストアではセブン・イレブン、食品系スーパーではまいばすけっとを挙げる割合が高い。
	商店街活動の 活発度	<ul style="list-style-type: none"> ・「やや活発」と回答した商店街の割合は、区内平均よりも若干高い。 ・一方で「あまり活発ではない」と回答した商店街の割合も区内平均より低くなっている。
	まちづくりへの 関心	<ul style="list-style-type: none"> ・「大いに関心がある」の割合が区内平均よりも高い。

コミュニティビジネスへのニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 区内平均と比べ、「まちづくり・地域活性化の支援」「地域情報の発信」ニーズが相対的に高く、「高齢者支援」「子育て支援」のニーズが、相対的に低い。
店舗経営上の悩み	<ul style="list-style-type: none"> 区内平均と比べ、「売れる商品・サービス企画の考え方が分らない」「思うように人材確保ができない」「資金繰りに苦労している」という悩みの割合が相対的に高く、「後継者がいない」「自社を効果的にPRする方法が分からない」については区内平均より低くなっている。
後継者の有無と今後の事業継続	<ul style="list-style-type: none"> 区内平均に比べて「事業規模の拡大を予定」と回答した割合が高い。 また、「後継者(親族以外)を探している」店舗が区内平均に比べて低く、5割近くは自分の代で店舗を閉める意向である。 自分の代で店舗を閉める店のうち、「わからない」とする店舗が区内平均よりも高くなっている。
地域としての特徴・強み	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特徴・強みとして「産業(特産品、工芸品、町工場、地元の有名企業等)」「組織・団体(自治会・町会、サークル、ボランティア、NPO等)」「自然(海、川、林、桜や海などの名所、野鳥、特有の植物・生物)」を挙げる割合が区内平均より高く、一方で「名所・旧跡(神社仏閣、街道、発祥の地、由緒あるもの等)」「文化・歴史(祭り、神輿、神楽、踊り、太鼓等)」が低い。

⑨JR蒲田駅西側地区の対象の町丁目



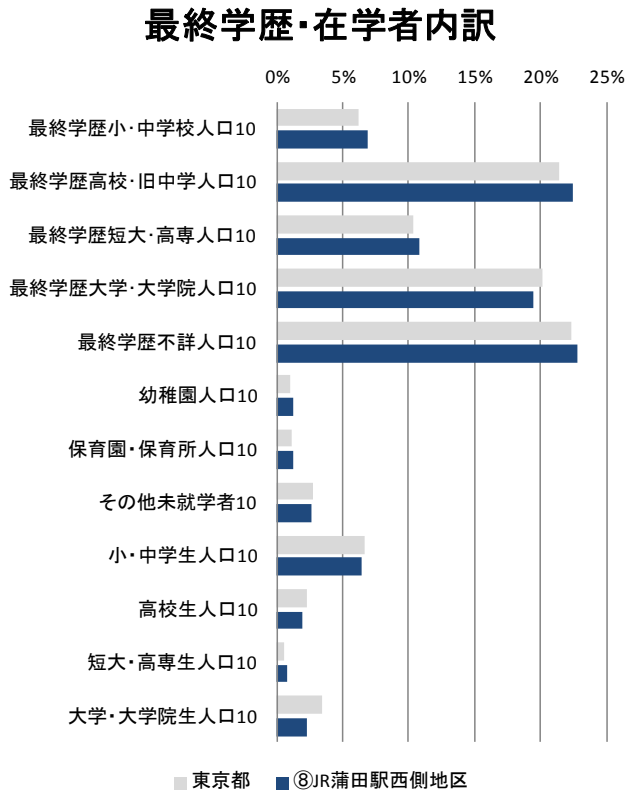
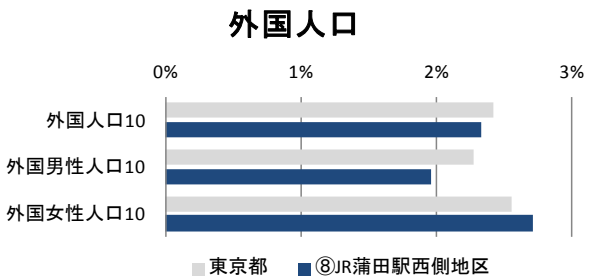
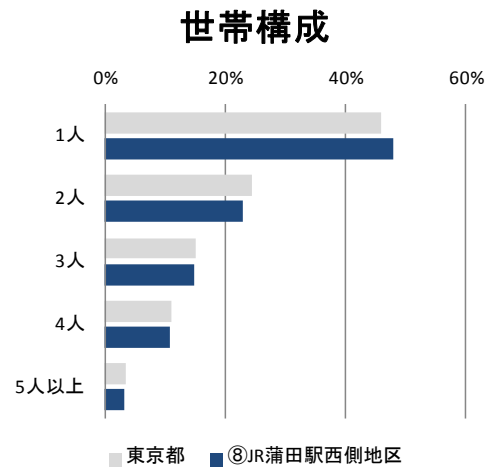
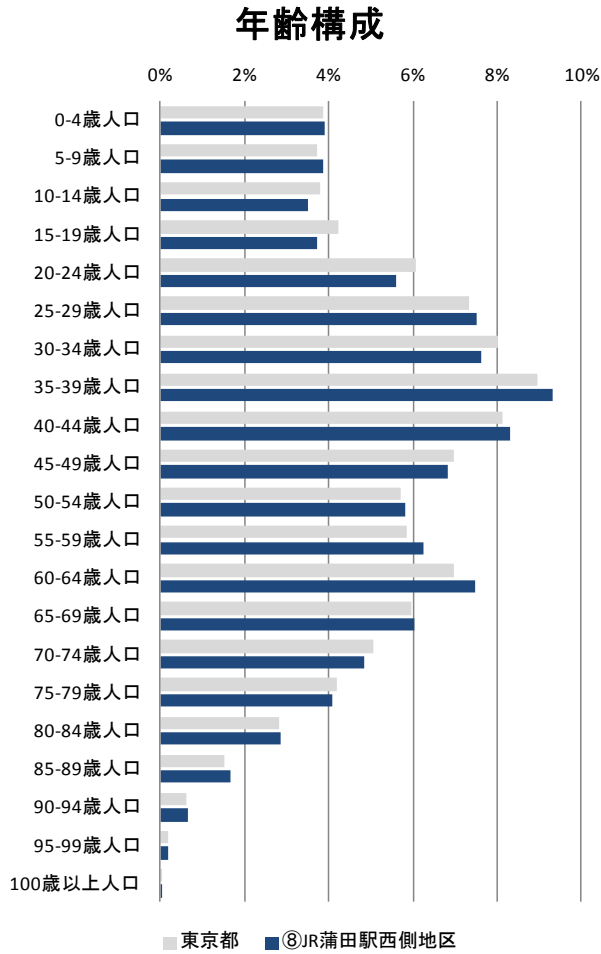
- ・西六郷 1丁目～4丁目
- ・西蒲田 1丁目～8丁目
- ・新蒲田 1丁目～3丁目
- ・東矢口 1丁目～3丁目
- ・多摩川 1丁目～2丁目
- ・下丸子 1丁目～4丁目
- ・矢口 1丁目～3丁目

1)消費者の現状分析

■住民に関する統計データ分析（2010年国勢調査データ）

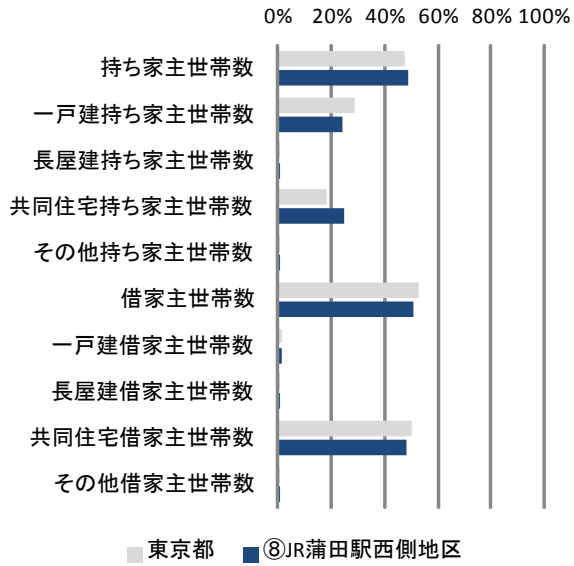
- ・青年層の人口（特に35～39歳）の割合が高い。
- ・単身者の世帯割合が高い。
- ・中卒・高卒の割合が高く大卒・大学院卒の割合が低い。
- ・外国人の割合は東京都の平均程度である。
- ・30㎡未満の狭小住宅の住民の割合が高い。

JR蒲田駅西側地区の住民に関する統計データ（1）

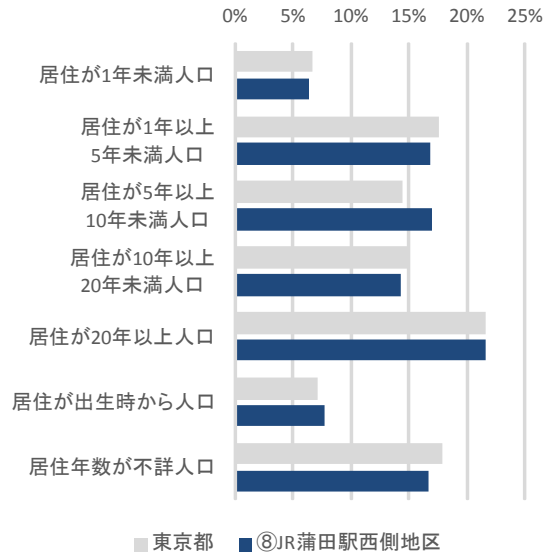


JR蒲田駅西側地区の住民に関する統計データ（2）

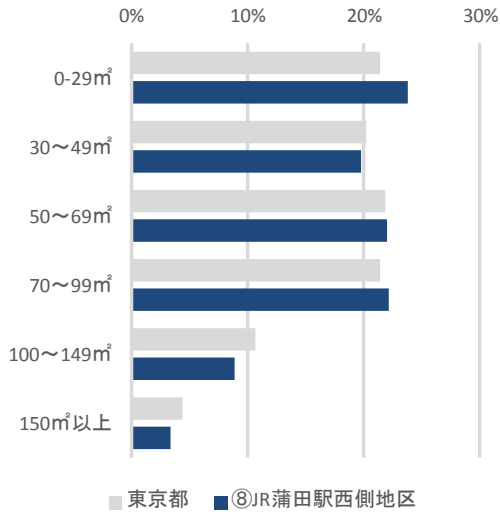
住宅の所有形態



居住年数



住宅面積



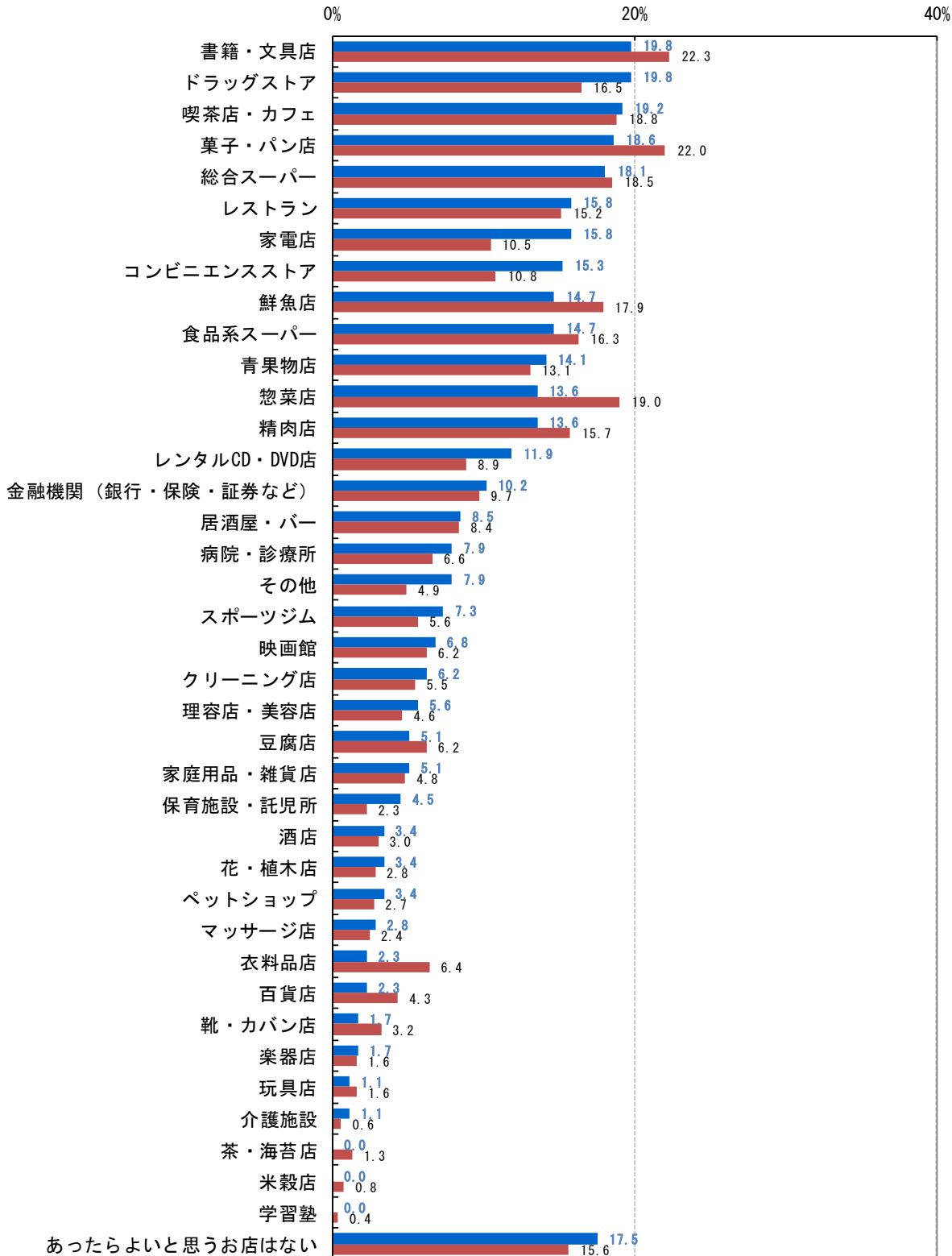
■ 商圈の基礎指標 ⑧JR蒲田駅西側地区

人口総数10	115,551
世帯数10	57,433
昼間人口総数10S	92,487
昼夜人口比率	80%
全産業事業所数10S	5,432
小売業事業所数10S	803
飲食店事業所数10S	781

■消費者として感じている不足業種（区民 Web アンケート 問 7-2 の地区別集計）

- ・全体の2割弱が「あったらよいと思う店はない」と回答しており、現状への満足度は高めである
- ・不足業種として割合が高いのは「書籍・文具店」「ドラッグストア」「喫茶店・カフェ」「菓子・パン店」「総合スーパー」である。

あなたのお住まいの近隣の商店街にあったらよいと思うお店

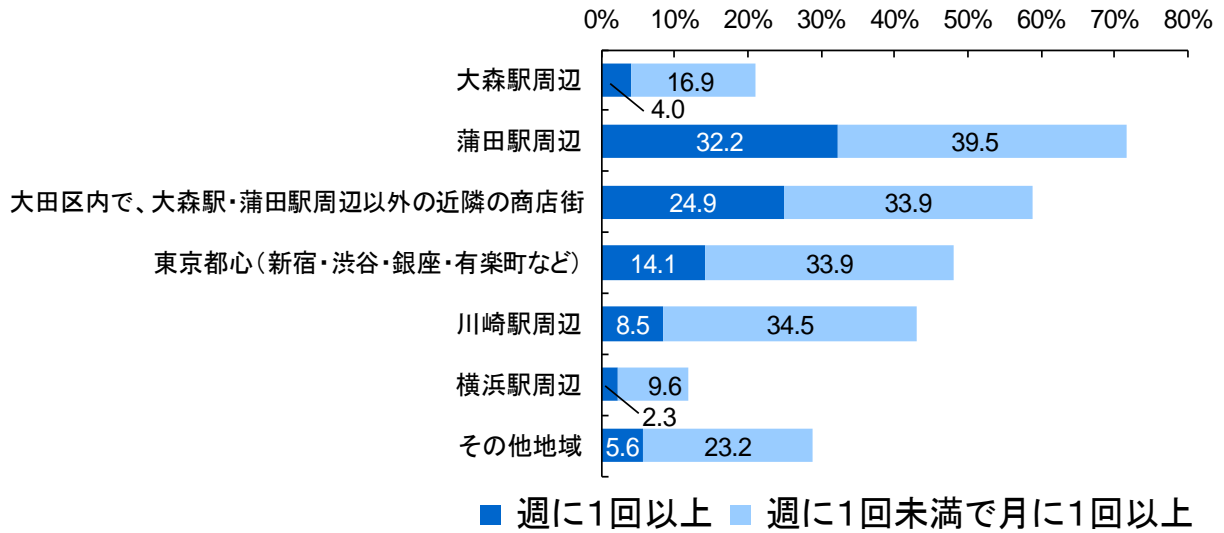


■ ⑨ JR 蒲田駅西側地区 (N=177) ■ 区内平均 (N=1062)

■ 区内外の商業地の利用頻度（区民 Web アンケート調査 問5の地区別集計）

- ・「蒲田駅周辺」の利用頻度が最も高く、7割近い人々が月に1回以上の頻度で利用している。
- ・次いで、「大田区内で、大森駅・蒲田駅以外の近隣」「東京都心」「川崎駅周辺」と続いている。

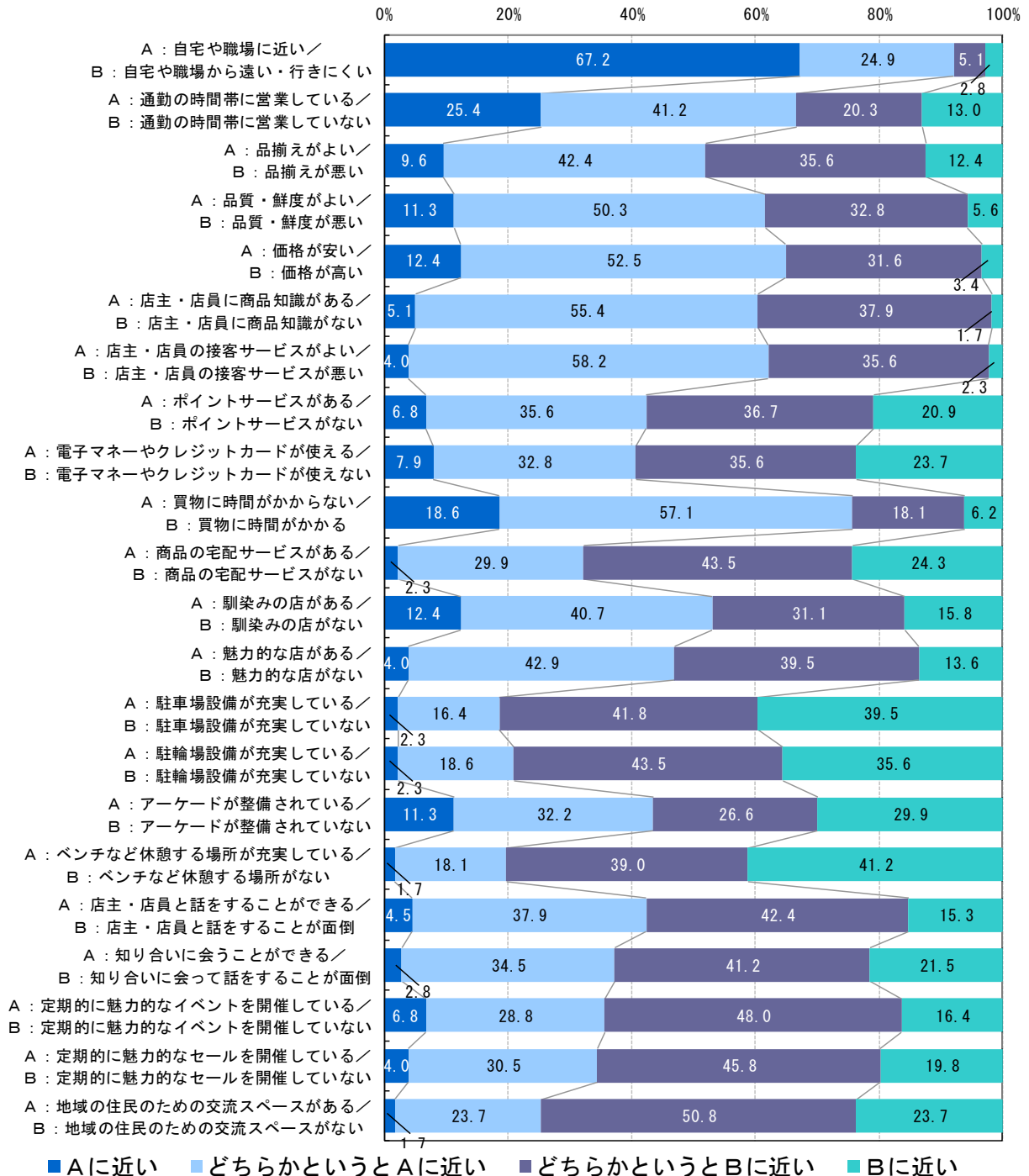
⑨ JR 蒲田駅西側地区



■近隣の商店街に対する評価（区民 Web アンケート調査 問7 の地区別集計）

- ・「店主・店員に商品知識がある」「店主・店員の接客サービスがよい」「価格が安い」「自宅や職場に近い」「買物に時間がかからない」「品質・鮮度がよい」という点で評価されている。
- ・一方で「ベンチなど休憩する場所がない」「駐車場設備が充実していない」「駐輪場設備が充実していない」という点で評価されていない。

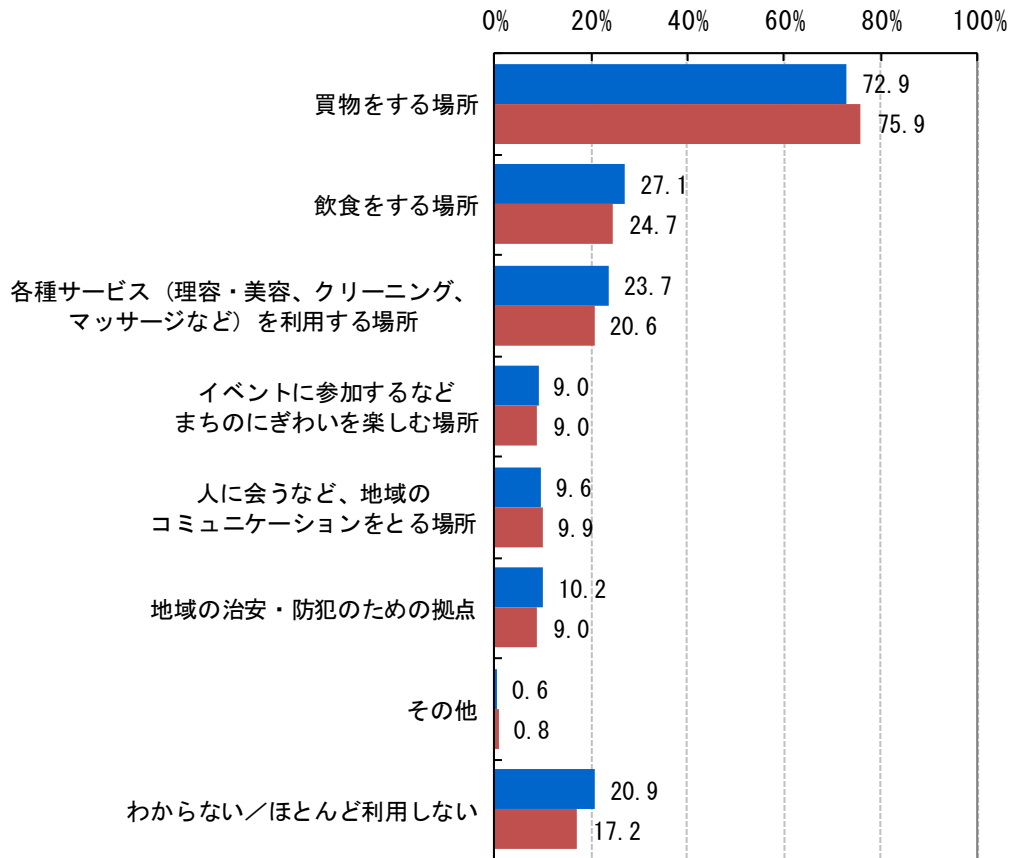
大田区内であなたがよく利用する、またはあなたのお住まいの近隣の商店街について、
あなたのお考えに近い方をお知らせください（⑨JR蒲田駅西側地区）



■あなたにとっての商店街（区民 Web アンケート調査 問 8 の地区別集計）

- ・「買物をする場所」と全体の 3 分の 2 以上が回答、次いで「飲食をする場所」が 4 分の 1 となっている。
- ・他の地区に比べて、回答が相対的に少ない項目は「買物をする場所」のみとなっている。

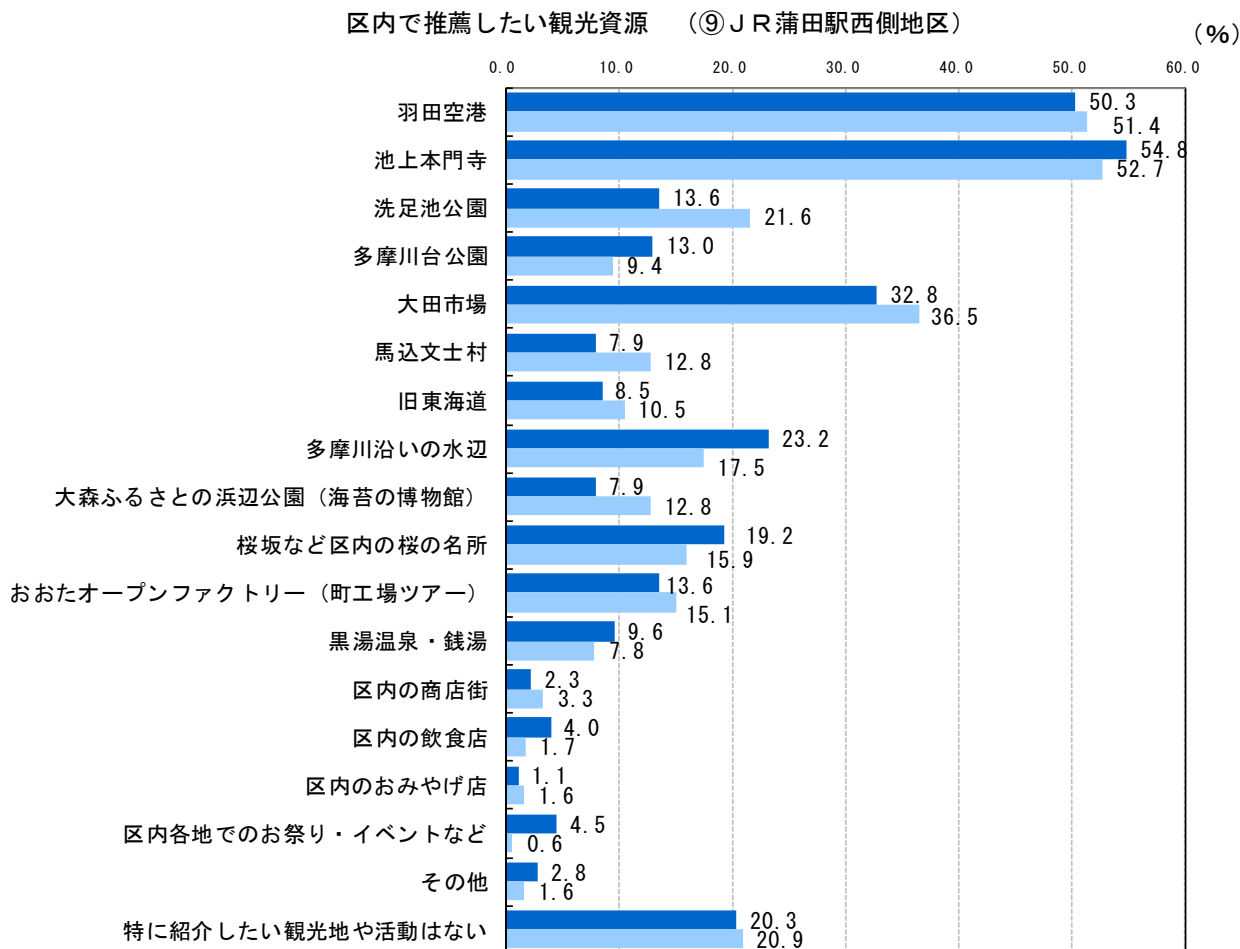
あなたにとって、商店街はどのような場所か？
（⑨ J R 蒲田駅西側地区）



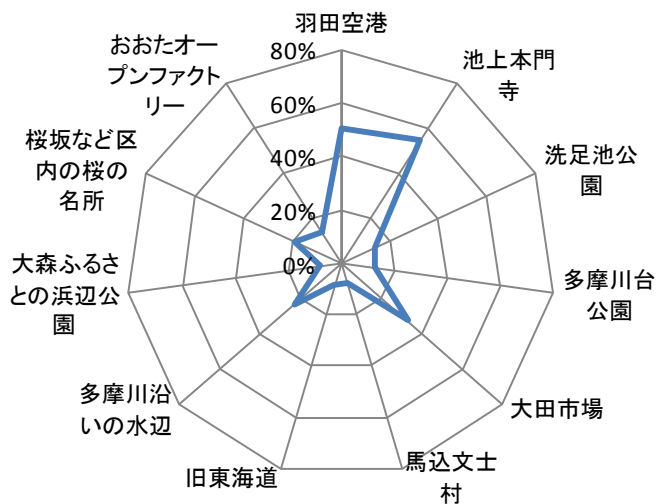
■ ⑨ J R 蒲田駅西側地区 (N=177) ■ 区内平均 (N=1062)

■区内で推薦したい観光資源（区民 Web アンケート調査 問10の地区別集計）

- ・区内で推薦したい観光資源としては、「池上本門寺」「羽田空港」「大田市場」が高い割合となっている。
- ・一方で、同地区に立地している「多摩川沿いの水辺」と地区外の「桜坂など区内の名所」については、区内平均よりも高い割合となった。



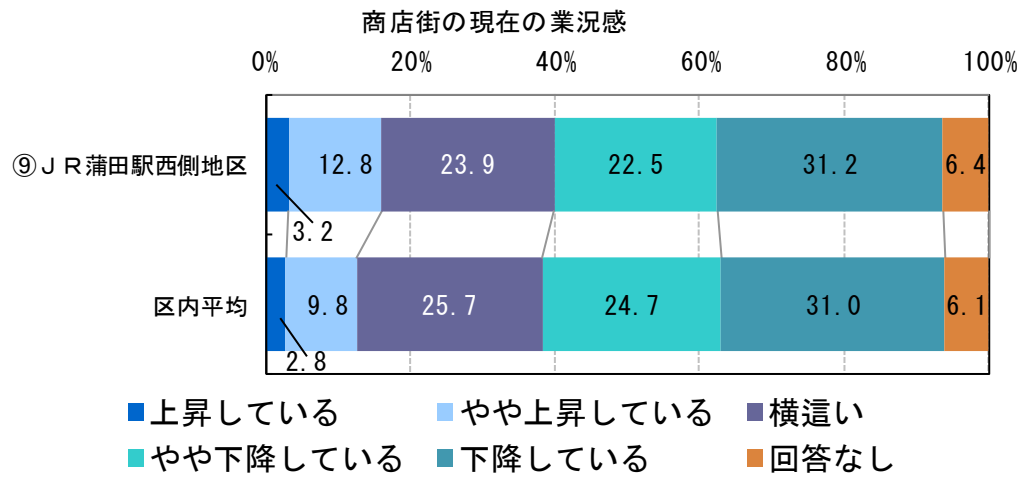
■⑨JR蒲田駅西側地区 (N=177) ■区内平均 (N=1062)



2)供給者の現状分析

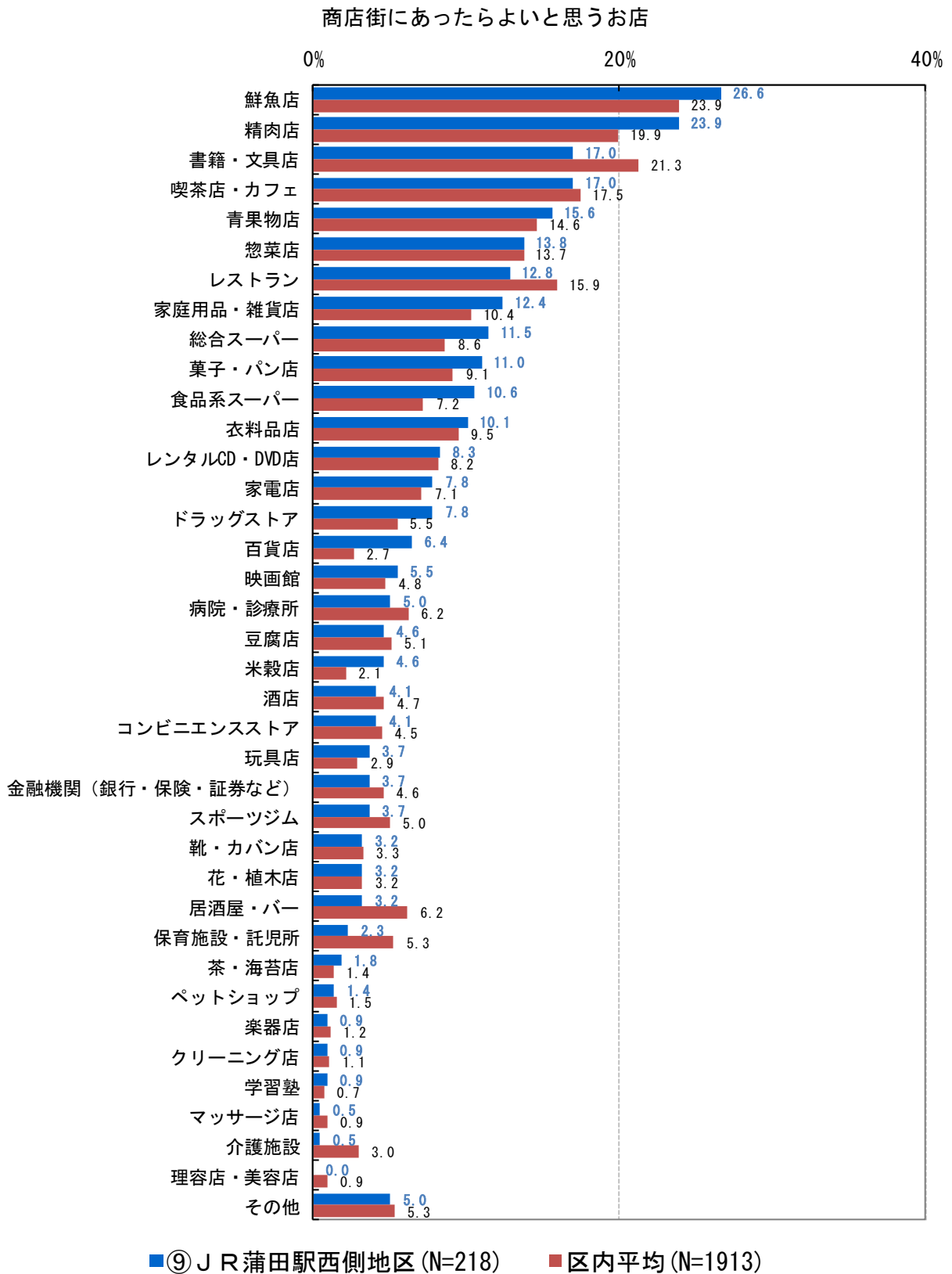
■業況感（個店調査アンケート 問3の地域別集計）

- ・「やや上昇している」の割合が、区内平均から見て、相対的に高く、「やや下降している」が相対的に低い割合となっている。



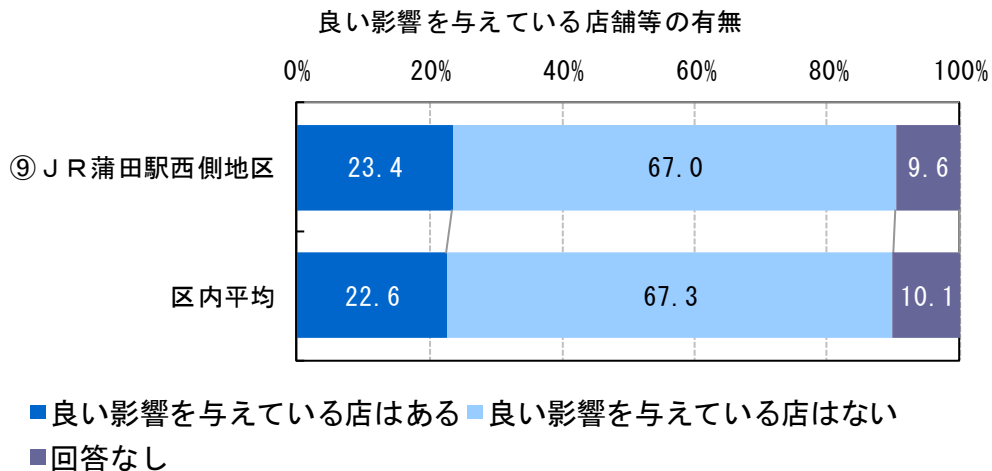
■ 供給者として感じている不足業種（個店調査アンケート 問6の地域別集計）

- ・ 不足業種として割合が高いのは「鮮魚店」「精肉店」「書籍・文具店」「青果物店」「惣菜店」である。
- ・ 消費者側ではニーズの高かった「書籍・文具店」「ドラッグストア」が、供給者側の不足業種として割合は低めであり、消費者とのギャップが見られる。



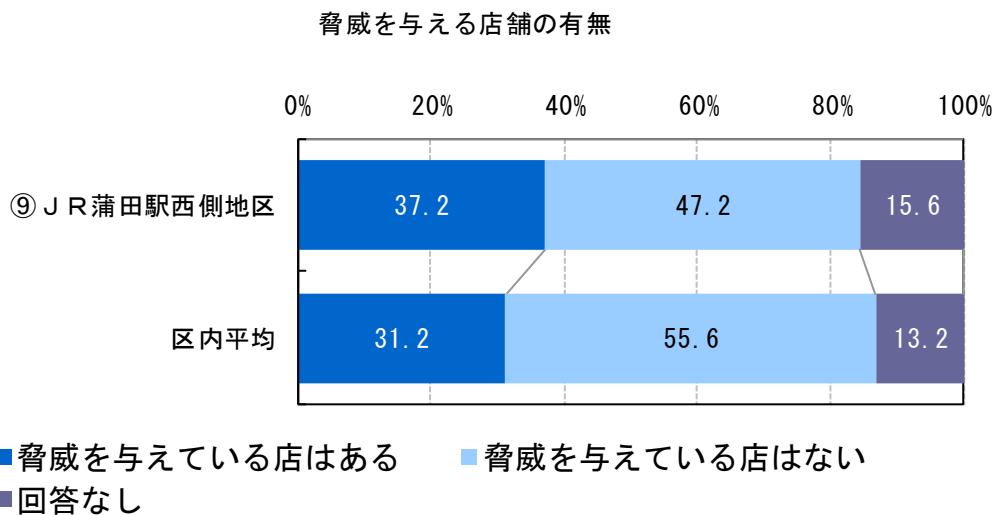
■ 良い影響を与える店舗の有無（個店調査アンケート 問4の地域別集計）

- ・「良い影響を与える店舗がある」と回答した割合は区内平均とほぼ同等。
- ・「良い影響を与える店舗等」としては、食品系スーパーを挙げる割合が高く、具体的には西友を挙げる割合が高い。



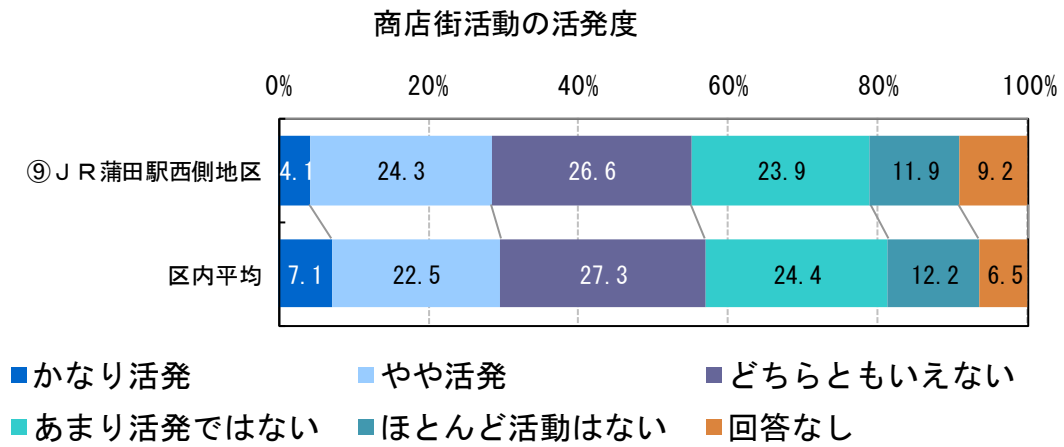
■ 脅威を与える店舗の有無（個店調査アンケート 問5の地域別集計）

- ・「脅威を与える店舗がある」と回答した割合は区内平均よりも高い。
- ・「脅威を与える店舗等」としては、コンビニエンスストア、食品系スーパーを挙げる割合が高く、具体的には、コンビニエンスストアではセブン・イレブン、食品系スーパーではまいばすけっとを挙げる割合が高い。



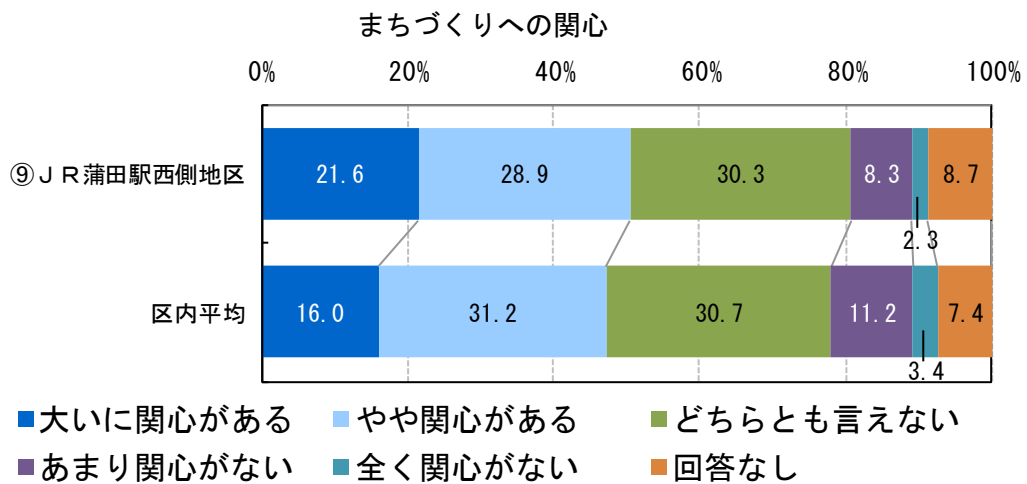
■商店街活動の活発度（個店調査アンケート 問11の地域別集計）

- ・「やや活発」と回答した商店街の割合は、区内平均よりも若干高い。
- ・一方で「あまり活発ではない」と回答した商店街の割合も区内平均より低くなっている。



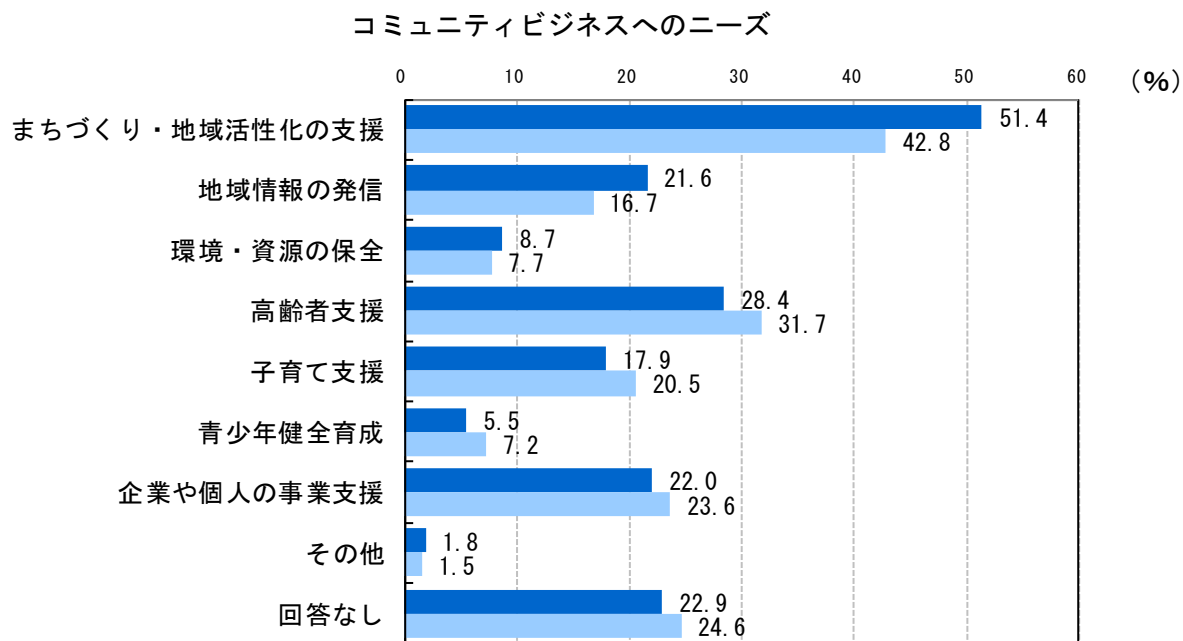
■まちづくりへの関心（個店調査アンケート 問16の地域別集計）

- ・「大いに関心がある」の割合が区内平均よりも高い。



■コミュニティビジネスへのニーズ（個店調査アンケート 問7の地域別集計）

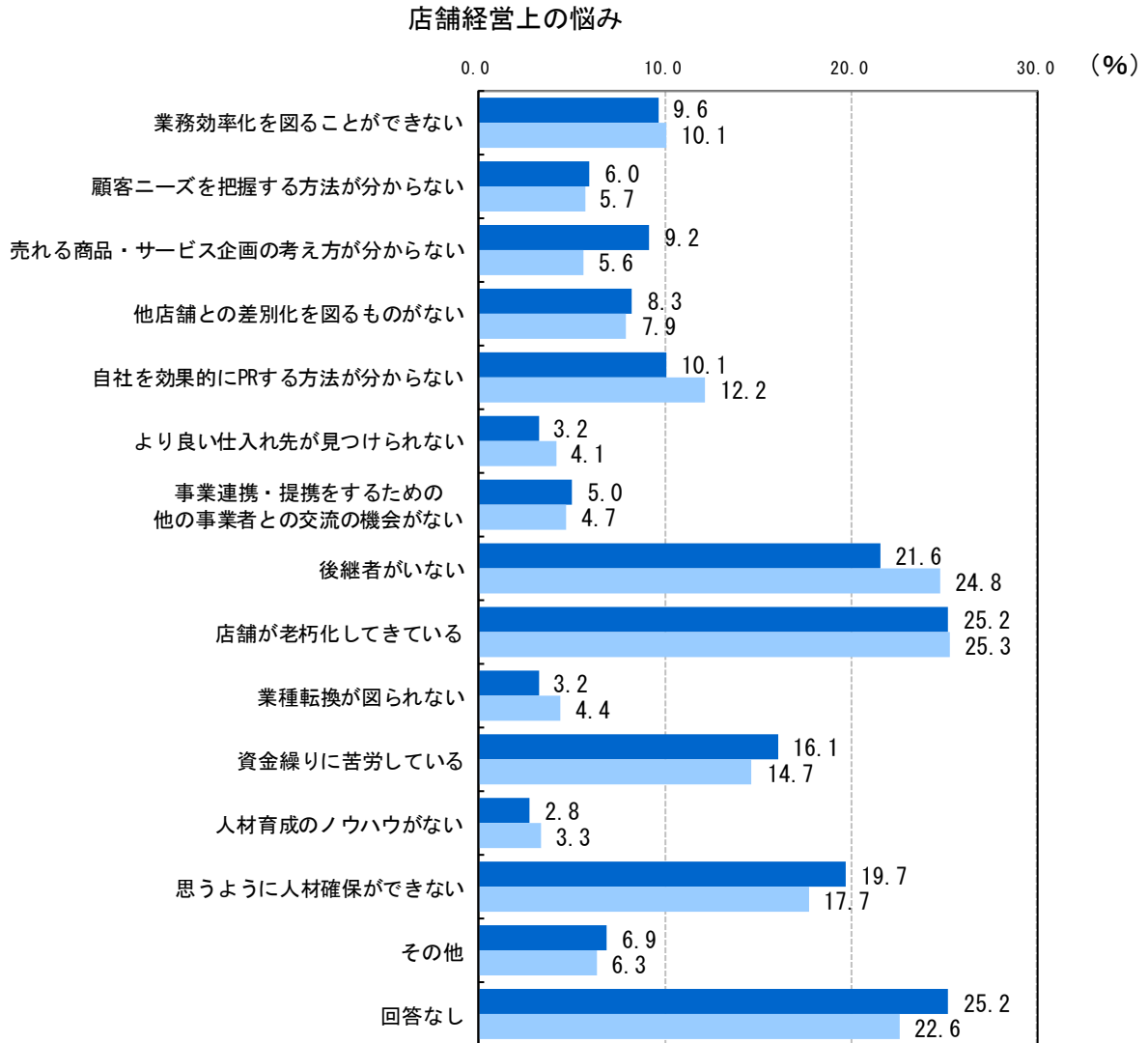
- ・区内平均と比べ、「まちづくり・地域活性化の支援」「地域情報の発信」ニーズが相対的に高く、「高齢者支援」「子育て支援」のニーズが、相対的に低い。



■⑨ J R 蒲田駅西側地区 ■ 区内平均

■店舗経営上の悩み（個店調査アンケート 問8の地域別集計）

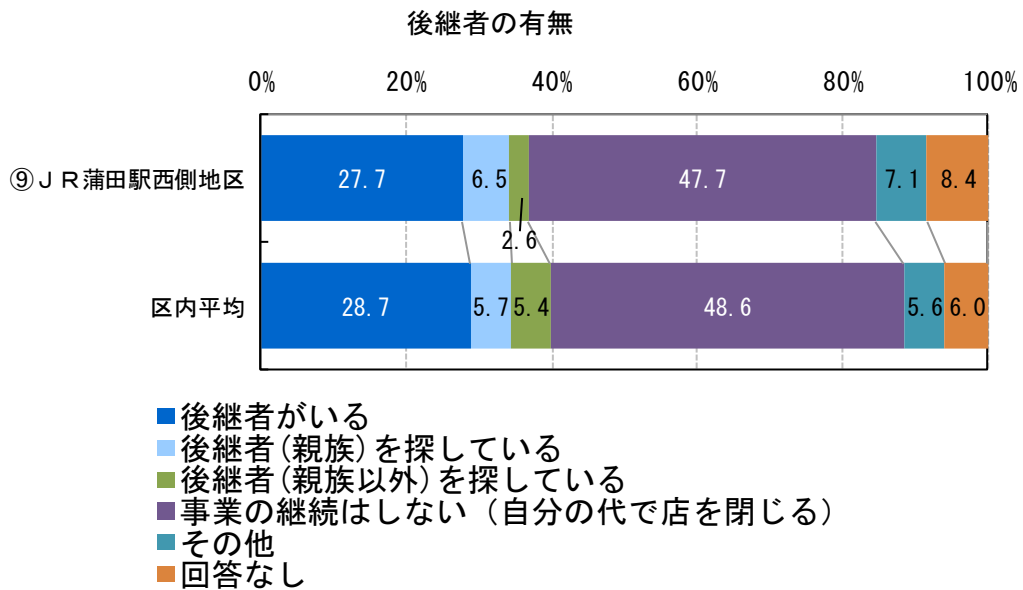
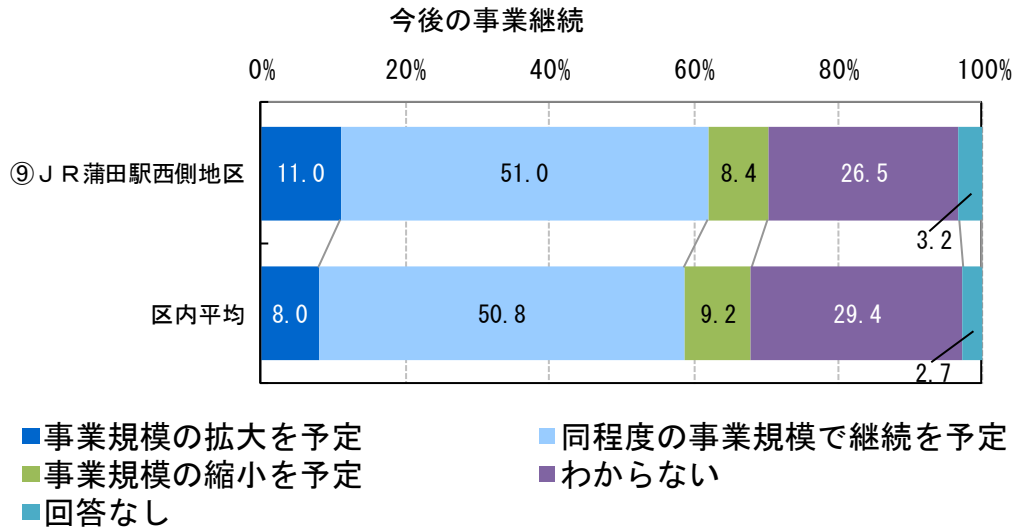
・区内平均と比べ、「売れる商品・サービス企画の考え方が分からない」「思うように人材確保ができない」「資金繰りに苦労している」という悩みの割合が相対的に高く、「後継者がいない」「自社を効果的にPRする方法が分からない」については区内平均より低くなっている。



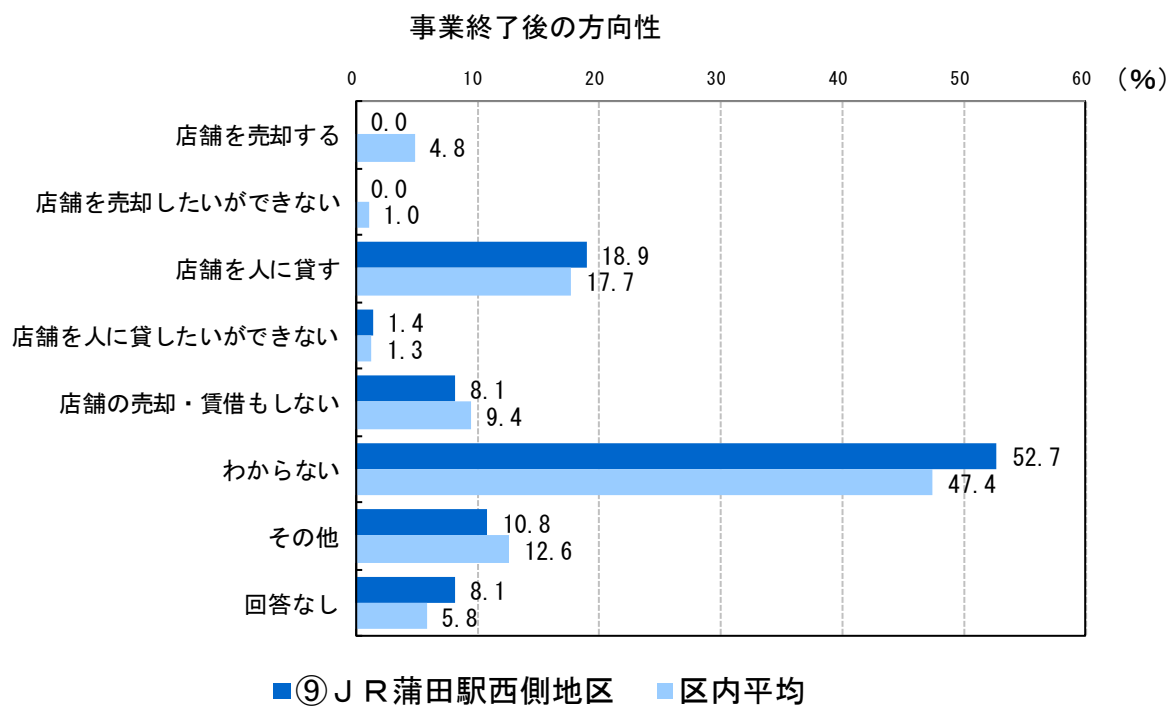
■ ⑨ J R 蒲田駅西側地区 ■ 区内平均

■後継者の有無と今後の事業継続（個店調査アンケート 問15の地域別集計）

- ・区内平均に比べて「事業規模の拡大を予定」と回答した割合が高い。
- ・また、「後継者（親族以外）を探している」店舗が区内平均に比べて低く、5割近くは自分の代で店舗を閉める意向である。

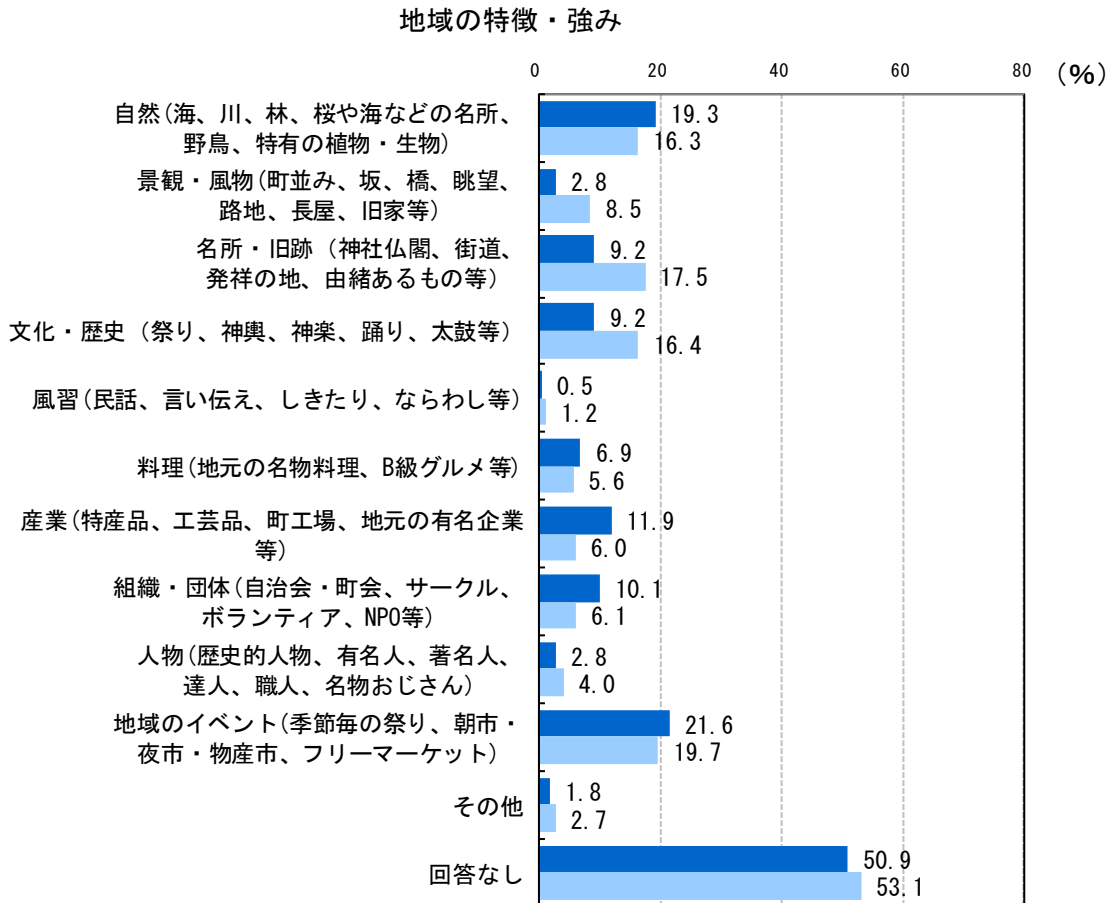


- ・自分の代で店舗を閉める店のうち、「わからない」とする店舗が区内平均よりも高くなっている。



■地域の特徴・強み（個店調査アンケート 問18の地域別集計）

・地域の特徴・強みとして「産業(特産品、工芸品、町工場、地元の有名企業等)」「組織・団体(自治会・町会、サークル、ボランティア、NPO等)」「自然(海、川、林、桜や海などの名所、野鳥、特有の植物・生物)」を挙げる割合が区内平均より高く、一方で「名所・旧跡(神社仏閣、街道、発祥の地、由緒あるもの等)」「文化・歴史(祭り、神輿、神楽、踊り、太鼓等)」が低い。



■⑨ J R 蒲田駅西側地区 ■ 区内平均